

【学校評価アンケート集計結果と考察及び自己評価】

重点目標	番号	評価項目	教職員	生徒	保護者	地域	平均値	自己評価	協議委員評価	考察 (◆は改善に向けた今後の方向性)
豊かな心の育成	1	○ 時と場に応じた挨拶、言葉遣いができる生徒の育成に努めているか。 ・あいさつ日本一	3.5	3.8	3.6	3.5	3.6	A	A	○ 概ね高い評価である。昨年度より生徒は、0.1%上がっているが、保護、地域は、0.1%下がっている。また、教員については、0.3%下がっている。 ● 教職員の意識の低下が見られると考えられる。 ● 地域での元気の良いあいさつができていないのではないだろうかと考えられる。 ◆ 「全生徒による朝のあいさつ運動の継続」と「質の高いあいさつ」や「どこでも気持ちの良いあいさつ」ができるよう、教職員が見本となり、学校全体で取り組んでいく。
	2	○ 学校や社会の規則を守るよう努めているか。 ・社会規範	3.6	3.8	3.5	3.8	3.7	A	A	○ 集会指導、常時指導や道徳の授業の充実を図っており、高い評価になっている。 ◆ 今後も集会指導、常時指導を継続し、より学校のきまりを意識させ、社会につなげていくとともに、道徳の授業などの更なる充実を図り、道徳心を育成する。(交通安全教室、薬物乱用防止教室、SNS犯罪防止)
	3	○ 「いじめ」や「差別」のない楽しい学校生活を送れるよう努めているか。 ・人権教育、人間関係づくり	3.6	3.8	3.5	3.5	3.6	A	A	○ 概ね高い評価である。 ◆ 今後も主に学級活動でソーシャル・スキルやピア・サポート等の取組を継続していき、「互いを認め合い、個性を尊重できる人間関係」を構築していく。
確かな学力の育成	4	○ ICTの活用などを取り入れながら、生徒が意欲的に授業に取り組ませ、学力向上に努めているか。 ・授業力向上(主題研修) ・学びを深める工夫など	3.5	3.4	3.4	/	3.4	B	B	○ 保護者、教職員は、昨年度と比べさほど変化はない。生徒については、0.2%上がっている。 ● 教科や学年で多少の差があり、授業改善が必要と考える。 ◆ 本年度は、主題研究で「分かる・できる」の研究実践を進めてきた。今後もタブレット端末を有効に活用しながら、生徒が仲間と対話しながら学習を深めていけるよう、全職員で授業改善を図っていく。
	5	○ 家庭学習が充実するように努めているか。 ・家庭学習の習慣化 ・プランニング能力(ドリルシート) ・学ぶ方法や個に応じた課題	3.5	3.5	3.5	/	3.5	A	A	○ 昨年度と比べ、生徒は、0.2%下がっている。保護者、教職員については、0.1%上がっている。 ● 保護者と学校との更なる連携が必要である。 ◆ 今後も家庭での学習の大切さや意義を生徒、保護者に伝え、家庭と協力しながら家庭学習の充実を努めていく。また、タブレット端末を活用し、生徒の実態に応じた支援をする。
夢や希望を抱いてたくましく生きる力の育成	6	○ 目標をもって部活動に取り組ませ、部活動での学びが日頃の生活に役立つよう努めているか。 ・体力の向上、礼儀・所作、技術向上など	3.5	3.8	3.4	2.9	3.4	B	B	○ 生徒、教職員については、昨年度と変化はない。保護者が0.2%、地域0.3%下がっている。 ● 部活動生の減少に伴って、学校単独チームで大会に出場できない部もあり、評価が下がったと考えられる。 ◆ 今後も学校として、保護者に対し部活動の意義等についての理解をしていただき、学校と家庭と地域が協力して活動に取り組んでいく。
	7	○ たくましく生きる力が身に付くよう努めているか。 ・体験学習等、職業観を養うキャリア教育など	3.5	3.3	3.5	3.5	3.5	A	A	○ 昨年度と比べ、生徒は、0.1%下がっている。保護者の評価が0.2%上がっている。 ● 更に、生徒の自己肯定感や問題解決能力の育成に努めていく必要がある。 ◆ 「15の春」を迎えた時の姿を学校、家庭、地域が共通理解した上で、生徒自身に自信を持って生活ができるよう学校の教育活動全体を通して支援していく。また、困難に直面した場合に、自己解決できる能力の育成に努めていく。
	8	○ 弁当の日に積極的に取り組むことができるよう努めているか。 ・食育、自立など	/	3.6	3.3	/	3.5	A	A	○ 保護者と生徒の評価に差が見られるが、保護者の評価は昨年度と比べ、0.2%上がっている。 ● 昨年度、保護者からの実施回数等の要望があり、実施日を夏季休業中にしたことで、家庭での負担が軽減したのではないと思われる。 ◆ 生徒は意欲的に取り組んでいる生徒も多くいる。「15の春」=自立という観点からも、今後も保護者へ理解していただけるよう努めていく。また、実施日や回数についても教育課程編成で検討していく。
保護者や地域との信頼関係の確立	9	○ 学校の情報などを分かりやすく伝えるよう努めているか。 ・学校からの情報発信 ・学校行事への参加 ・地域行事への参加	3.4	3.6	3.6	3.2	3.5	A	A	○ 学校、保護者については、高い評価であるが、地域の評価が低い。(昨年より0.1%上がっている。)コロナ禍により、人数制限で学校行事に参加できていない面が評価に出ていると思われる。 ◆ 各学校行事等で、コロナの状況を見据えながら、できるだけ制限を解除し、地域の方が学校へ来ていただけるよう努めていく。また、学校便りを回覧板や役場への掲示、各担当からの各種便りの発行、HPの更新を継続して行っていく。
	10	○ 中学校を誇りに思うか。	/	3.9	3.5	3.5	3.6	A	A	○ 本年度から新たに加えた評価項目である。 ◆ 更に、保護者・地域との協力体制を構築していき、地域に根ざした学校になるよう取り組んでいく。

- 評価については、4=そう思う 3=だいたいそう思う 2=あまりそう思わない 1=そう思わない の4段階で評価している。
- 自己評価及び学校運営協議会委員評価については、A・B・C の3段階で評価している。
- 生徒の評価については、各評価項目について、「自分ができているかいないか」の基準で評価している。
- 評価項目の斜線(/)は、対象者が当該項目の評価を実施していないことを意味する。